



とが目的ではない。その人の生き方や考え方に触れ、参加者が自身を見つめ直し、考える時間を届けること。それが文化講演会の目指す姿だ。

これまでの講演会の中で来場者から特に反響が大きかったのが、アフリカで医療支援を続ける医師・川原尚行さんの講演。外務省書記官という安定した道を離れ、現地の医療活動に身を投じた生き方は、聴衆たちの心を動かした。『ハチドリの一滴』の話を聞いて、自分にできる小さな行動を積み重ねることの大切さを改めて考えさせられた」と、メンバーは振り返る。また、来場者からは「一生懸命生きている人の声、姿、心に出会える素晴らしい講演会」などの感想が寄せられている。

一方で、こうした心に残る講演会を届けるまでには、講師の選定や会の運営など、多くの苦労があった。それでも、「本当に良いものなら、必ず地域に根付く」と信じ、一回一回の講演を丁寧に積み重ねてきた。

文化を次の世代へつなぐために

メンバーが口をそろえるのが、

「若い世代にこそ、講演会に来てほしい」という思い。しかし、現状では若い世代の参加は少なく、大きな課題の一つになっている。さまざまな情報が簡単に手に入る時代だからこそ、「本物」の人やその言葉に直に触れ、その生き方や価値観を肌で感じてほしいという。その思いから、若い世代が足を運ぶきっかけとなるよう、8月の講演会(詳細は左下を参照)では、子育てをテーマにした内容を企画している。

講演会を未来へつなぐためには、会をどう引き継いでいくかも大きな課題となっている。後継者の育成を進めるとともに、市や企業、関係団体と連携した実行委員会方式の導入も視野に入れ、検討している。

「文化」とは、「その土地に根付き、人々の幸せにつながる営みであり、一朝一夕で生まれるものではなく、長い年月をかけて育まれていくものだ」と会では考える。

10年、20年先も、この講演会が市の誇りとして続いてほしい。そんな願いを胸に、文化講演会／宇城は、今日も「本物」に触れる場をつくり続けている。

宇輝人

vol.100

つながりが生んだ舞台

生命科学の研究者、宇宙飛行士、アフリカで医療支援を続ける医師、文学や歴史の研究者など。文化講演会には、毎回さまざまな分野で第一線を走る講師が全国から招かれる。壇上では、自らの経験や研究、人生観が語られ、会場は耳を傾ける参加者の熱気に包まれる。その講演会を主催しているのが「文化講演会／宇城」だ。

同会は宇城市で生まれ育った高濱和夫さんの発案、呼びかけで令和元年に発足し、高濱さんは会長に就任。令和3年11月に第1回を

開催し、年2回程度、講演会を開催している。

発足のきっかけは、長野県須坂市で開催されている「信州岩波講座」との出会い。その取り組みに刺激を受け、「宇城市でも『本物』の人との出会いとその話を通して人が学び、心を動かされる文化講演会をつくりたい」と考えた高濱会長は、これまで築いてきた大学関係者や同級生などとのつながりを生かして仲間を集めた。多くの縁が結び付き、「宇城市だからこそ実現できる本物に触れる場」が形になっていった。

派手さより、心に残る一日を

この講演会は、著名人を招くこ

「本物」との出会いが

まちの文化を育てる



1 アフリカで医療支援を続ける川原尚行さんの講演会 2 会場には多くの人々が訪れる 3 月に1回程度、幹事が集まり、講演会の運営などについて話し合っている



「情熱大陸」(TBS系)
「カンブリア宮殿」(テレビ東京)等
テレビやYouTubeでおなじみ！
花まる学習会
高濱正伸先生講演会
あたりまえの子育てを考える
～こどもに伝えたい「あたりまえ」とは？～
2026.8.20(木)

受付 14時30分 開演 15時
場所 ウイングまつばせ
費用 前売券1,000円、当日券1,200円
※18歳以下無料、要申し込み
申込 電話、または WEB



WEB申し込み

文化講演会／宇城

令和元年発足。現在、幹事約40人で活動。年に2回程度の宇城市での講演会のほか、熊本市などでのサテライト講演会などを行っている。現在は8月20日の講演会や第10回目となる11月23日の講演会に向けて準備を進めている。お問い合わせは、事務局まで。

☎ 090-9477-3236 緒方
☎ 090-8289-3753 鶴田